

事務事業名	市税賦課事業		所属部	市民環境部	所属課	税務課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	固定資産税G 市民税G	課長名 内田 和巳
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	宮川 純 勝平 弥生	電話番号 0854-40-1034 (内線) 2214・2215・2216
	目的 対象	市の財政	意図	健全に運営する。		
	基本事業	〈023〉積極的な財源確保		予 算 科 目	0:1:10:0:1 項 目 中 事 業 中 事 業 名	賦課徴収事業 賦課事業
目的 対象	予算	意図	財源を確保する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
納税義務者	適正課税
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	1. 市税の賦課 (1)市県民税の賦課 (2)固定資産税の賦課 (3)軽自動車税の賦課 2. 申告納付 (1)法人市民税 (2)市たばこ税 (3)入湯税 3. その他 (1)国有資産等所在市町村交付金
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
(1)個人市民税の調定額 1,398,588千円 納税義務者数 18,426人 (2)固定資産税の調定額 1,777,731千円 納税義務者数 16,346人 (3)軽自動車税の調定額 152,590千円 課税台数 22,285台	基幹系税システム等の改良・改修を行っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
ア 個人市民税 調定額	千円	1,412,875	1,418,497	1,398,588	1,397,597
イ 固定資産税 調定額	千円	1,857,173	1,899,837	1,777,731	1,807,199
ウ 軽自動車税種別割 調定額	千円	145,868	149,063	152,590	158,575
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
総事業費 30,040千円 ・会計年度任用職員賃金 3,592千円 ・需用費 6,045千円・役務費 7,304千円 ・委託料 10,037千円(給報電算パンチ委託、くにびきデータ異動修正委託他) ・使用料及び賃借料他 3,062千円		財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
	県支出金		千円	29,736	31,456	30,040	36,221	
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	4,217			17,505	
			事業費計	千円	33,953	31,456	30,040	53,726

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	適正な課税につながった。
② 事業実施するうえでの課題	賦課事務は、電算システムによる部分が大きいためより迅速で正確なシステムの改修・構築が必要となる。 一方で、事務作業等の見直しを行い効率化を図る。
③ 課題解決に向けた改革改善等	今後、税制度の複雑化が予想されることから、それらに対応できる柔軟なシステム構築や改修が必要となる。